

校名趣旨

1. 三浦周行博士監修旧堺市史には、堺の名は平安朝が初出であり、その頃の堺はその東部高地から先ず開けたとある。学校所在地はまさにその丘陵の一角に位置していると考えられる。また明治元年6月から十数年間、旧称岩室は堺県に属していた。したがって、昭和34年堺市に編入された新市域とはいえ、校名に堺の字を用いることは、歴史的、社会的妥当性をもつことは明らかであろう。また6・3・3制度発足後、府立普通科高校名に初めて堺を用いたことは、地域に親近感をもたらすものとする。考える。
2. 晴美台は堺市全域のほぼ東方にあたるので、堺東を校名とした最大の趣旨であるが、さらに東は四季の春に相当し、万物生成発展のはじめを想起させる。堺東高校の生徒が、6綱領を青春の額の輝かしい六合にあまねく活躍をすることを祈念する意味を含めている。